



まち協通信

TOWN DEVELOPMENT

第14回

「地震や豪雨に備えて『勉強会』

を始めました」

市街地で復旧・復興のための各種事業が進められるなか、市街地のまちづくり協議会では、熊本地震の記憶を次世代に残すとともに、近年の豪雨災害に備えるため、地区自らの手で防災マップや災害時における避難などの基本的なルールを検討していくこととしました。

検討にあたっては、住民が情報を共有、知恵を出し合うことが重要と考え、協議会役員を中心に集まった地域の皆さんと「勉強会」を開催して話し合うこととしました。広崎地区・辻団地地区は11月



広崎地区での勉強会



福富地区での勉強会



25日に、福富地区は12月2日に開催した「勉強会」は、全3回を予定しています。今後もまち協だよりを通じ、開催の案内を行ってまいりますので、気になる人は、ぜひご参加ください。

木山地区のまちづくりに係る談話室

場所 mirai-baco. (木山仮設商店街内)

日時 水曜日と第2・4日曜日の午前10時～正午

岡復興整備課 まちづくり推進室 ☎ 289-2930

振り返る

復旧・復興

益城町町民運動場

被害の状況により 仮設団地用地に使用

各グラウンドの被害状況等

【町民グラウンド】面積／29,334㎡▼液状化、照明損壊、給排水設備破損ほか

【飯野町民グラウンド】面積／8,393㎡▼被害なし

【広安町民第1グラウンド】面積／15,919.68㎡▼法面一部崩壊ほか

【福田町民グラウンド】面積／14,125.14㎡▼グラウンド内亀裂、駐車場法面一部崩壊ほか

【津森町民グラウンド】面積／14,714㎡▼駐車場兼グラウンドゴルフ場土砂崩落ほか

3施設が仮設団地用地に

地震の影響がほとんどなかった飯野、被害が比較的小さかった広安第1・津森グラウンドの3つが、避難者の早

期の住まい確保のため、いち早く仮設団地の用地として選定されました。

新たにグラウンドを整備

町民グラウンドがすべて利用できない状況となったため、町では黒石崎地区の農地を借り受け、グラウンドとして整備。サッカーやグラウンドゴルフなどを楽しめる場所を設けました。

復旧状況

現在、平成31年7月の利用再開を目指し、町民グラウンドの復旧を進めています。その他は復旧を完了。福田グラウンドは、貸し出しを再開しています。



復旧が進む町民グラウンド

岡生涯学習課スポーツ振興係
☎ 287・4330